

急性期病院における頻回の転落を繰り返す患者に対する畳導入検証について

1. 研究の対象

2024 年 3 月から 2025 年 6 月に当院に入院され病床に畳が導入された患者さん

2. 研究目的・方法

一般的に入院療養中は、入院の原因になった病気や怪我に伴う身体機能の変化や生活リズムの変化、更にその変化によって一時的に意識や認知機能が低下する「せん妄」といわれる症状などが誘発され、転倒転落が発生しやすい状況となります。当院においても高齢の入院患者さんが多く、入院中の転倒転落発生件数も年々増加しています。転倒転落を繰り返すと患者さんや家族への負担も増加し、怪我をするリスクも高くなります。このような状況を鑑み転落防止と療養環境の改善を目的として、2024 年より個室病床にベッドの代わりに畳の導入を開始しました。本研究では、電子カルテ内の診療情報や医療者間の話し合いの結果などを収集し、畳導入の有用性と課題について多職種の視点から検証します。

研究期間は、病院長許可日から 2026 年 3 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、診療科、病棟、性別、転倒日、畳を導入した日・終了した日、診察記録、看護記録やチーム・委員会のカンファレンス記録 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 Tel：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科 鈴木亮馬